

ころなわくちん う コロナワクチンを受けたあなたに

2022年3月 にしなりみんしゅしんりょうじょしよちやう 西成民主診療所所長 おおざとみつのぶ

あなたが、もっと小さい赤ちゃんだったころに、ワクチン
(予防注射) をされて、痛かったことをおぼえていますか? でも、
今までそのおかげで、そのときに注射した病気にならなくて元気
にすごせるようになったのです。世の中にはいろいろな病気がありま
すが、このように、ばいきんやウィルスがおこす病気を、ワクチン
(予防注射) でふせぐこともできます。今、はやっている「コロ



ナ感染症」もそのひとつです。ワクチン(予防注射)を受けることで、大部分の子どもが、そ
の病気にかからなくなったり、かかっても軽くなったり、まわりの人にうつさなくなったりしま
す。もちろん、少し体を休めると、自然となおる病気もたくさんあります。ふつうの「かぜ」
などは、そうですね。体のなかに、ばいきんやウィルスをやっつける力が、しぜんについてくる
のです。でも、コロナはそういうわけにはいきません。そこで人間の手でやっつける力をつけ
るようにしたのが、ワクチン(予防注射)です。

だからワクチン(予防注射)は、自分のからだとはちがうものです。だから、注射したあと
は、うでがはれたり、場合によっては、「ねつ」がでたり、からだがしんどくなったりします。そ
んな時には、かならずお父さん、お母さんやまわりの大人の人に言うようにしてください。ま
た、注射したあとは、15分以上は、待合室でやすんでください。

注射は、3から4週間あけて2回、肩にします。つぎのときも、わすれずに来てくださ
いね。まっています。

診療所の職員はみなさんの味方になることを約束します。みなさんも、ひとつ約束をして
ください。友だちがワクチン(予防注射)を打たなかったりしてもその友だちのこのことを
悪く言ったり、いじめたりしないでね! だって、いろいろな理由(わけ)があって打たない人や打
てない人も、みなさんのお友だちに、変わりはありません。

私たちは、明日から、みなさんが元気に、学校や保育園、幼稚園などで友だちと遊んだり、
しっかり勉強できることを心からねがっています。わからないことや不安や疑問に思っている
ことなど、なんでも私たちに聞いてくださいね。